


UCHIDA オートフィードダイカッター
AeroDieCut
 ブランキングパッケージ

ダイボードサイズ
350x550mm⁺
 ダイボード厚さ(板厚)
18mm
 カット刃高さ
23.6mm
 (調整可能高さ: 23.3~23.8mm)

- カット
- クリース
- ミシン目加工



最大用紙サイズ
365x515mm
 最大加工サイズ
320x505mm
 用紙厚
120-400gsm

■ アクセサリー

ダイボードラック [付属品]	ダイボードとカッティングプレートの収納ができます。
フィルム用スタッカー [付属品]	排紙後の薄い紙やフィルムをきれいに揃えて積載できます。
カッティングプレート [消耗品]	ステンレス製: 硬い材質のため繊細な刃の高さ調整が必要です。 大ロットや長期間使用する場合に適しています。
カッティングプレート [消耗品]	アルミ製: 柔らかい材質のため、調整が容易です。 小ロットや短期間の使用に適しています。
イオナイザー (mini) [オプション品]	給紙部に装着することで、用紙の静電気を除去します。
ダイアダプター Ver 2 [オプション品]	小サイズの木型を装着できます。

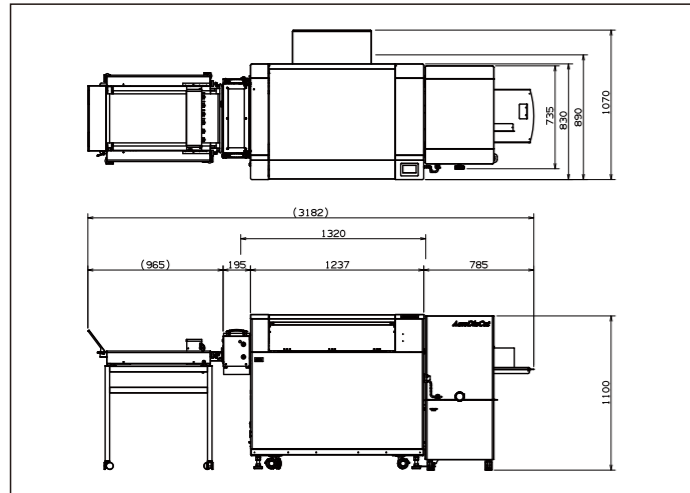


ダイアダプター Ver 2



ダイボードラック セパレーター用カードスタッカー

■ 機械寸法



■ 仕様

用紙サイズ	幅210×長さ279~幅365×長さ515mm
最大加工サイズ	幅320×長さ505mm
最小加工サイズ	幅50×長さ50mm
用紙質量	120~400g/m ² (紙質による)
給紙方式	アッパーベルトエアークッション方式
セパレート方式	ローラーによるセパレート方式
セパレート最大横回数	5面
用紙積載量	100mm
メモリー種類	100種類
処理速度	最大700枚/時
機械寸法	W3,182×D1,070×H1,100mm
機械質量	460kg
電源	100V 50/60Hz 400W (消費電力)



●安全にお使いいただくために
 ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 表示された正しい電源・電圧でお使いください。
 アースを確実に取付けてください。
 ●製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

< 取扱店 >

株式会社 **ウチダテクノ**

〒104-0033 東京都中央区新川1-10-14 ☎03(5657)4071
 〒060-0031 札幌市中央区北1条東4丁目1-1 ☎011(241)2825
 〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2 ☎06(6920)2460
 〒812-0008 福岡市博多区東光2-10-11 ☎092(476)5011

ホームページアドレス www.utechs.co.jp

デジタル印刷のフィニッシングに最適な 新設計のダイカッターです

AeroDieCutは、曲線カット、特殊な折り目、ミシン目加工などを要するパッケージや、ユニークな形状のグリーティングカードなど、手に取った瞬間に心躍るような高品質な製品を形にする次世代ダイカッターです。

従来の大型機よりも操作が容易で、カッティングプロッターを凌ぐ生産性と、ロータリーダイカッターを上回る加工精度を兼ね備えています。

安全、直感的な操作、コンパクトサイズ

従来のプラテンダイカッターは大型で重く、扱うには熟練の技術が不可欠でした。一方、AeroDieCutは誰もが安全かつ直感的に操作できるタッチパネルを搭載しており、手動の調整を最小限に抑えた設計となっています。デジタルプリンターの傍らにも設置可能なコンパクトなサイズです。

伝統的なプラテンダイをデジタル技術で活用します

AeroDieCutは伝統的なプラテンダイを採用しながら、最新のユーザーインターフェースを融合させたダイカッターです。抜き加工の分野で長年信頼されてきた技術が、これまでにない革新的な体験をもたらします。また、広く普及しているプラテンダイを使用するため、導入のしやすさと優れたコストパフォーマンスを両立しています。

デジタルプリンターの可能性を解放します

デジタルプリンターの進化に伴い、印刷市場はより付加価値の高い「厚紙印刷」へとシフトしています。AeroDieCutは、それらの印刷物をパッケージやカード、スイングPOP、ボトルハンガーといった多彩な製品へと作り変えることが可能です。独創的なデザインを高品質な加工で具現化するその技術は、ビジネスの持続的な成長を強力にバックアップします。

機器構成と機能



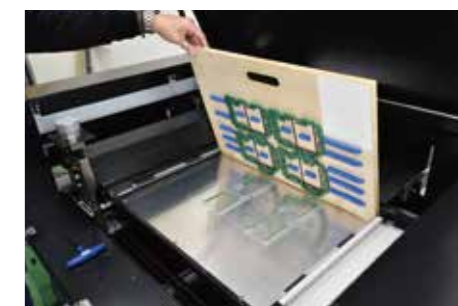
① フィードユニット

特許技術の「Tri-suction feeder」により、極めて安定した給紙を実現しました。用紙検知には超音波センサーを採用しているため、デザイン性の高い印刷で多用される特殊紙や黒い用紙も検知可能です。さらに、搭載されたカットマークセンサーが印刷のわずかなズレを検知し、自動で補正を行います。



② カラータッチスクリーン

4.3インチのカラータッチスクリーンは直感的な操作でジョブ内容の変更や処理速度の調整、面付機能の設定なども簡単にこなせます。このスクリーンには最大100通りのジョブを記憶させることが可能です。



③ メインユニット(プレスユニット)

メインプレスユニット部には特許取得済みの「可動式プレスローラー」機構を採用しています。これにより従来のダイカッターと比べて静粛性を高めながら省電力にも貢献しています。



④ セパレーター&コンベア

生産現場の「止まらないライン」を実現するセパレーター機能。打ち抜き後の手間にかかる「むしり作業」を自動処理し、不要なカスと製品を素早く分離します。これまで手作業で行っていた工程を機械化することで、常に安定した高速での大量生産を実現します。(※型デザインによる制限あり)
セパレート後の製品はコンベアによる自動搬送で効率よく回収可能。むしり工程に割いていた人員と時間を削減することで、生産性を飛躍的に高めます。

